

平成24年行政事業レビューシート

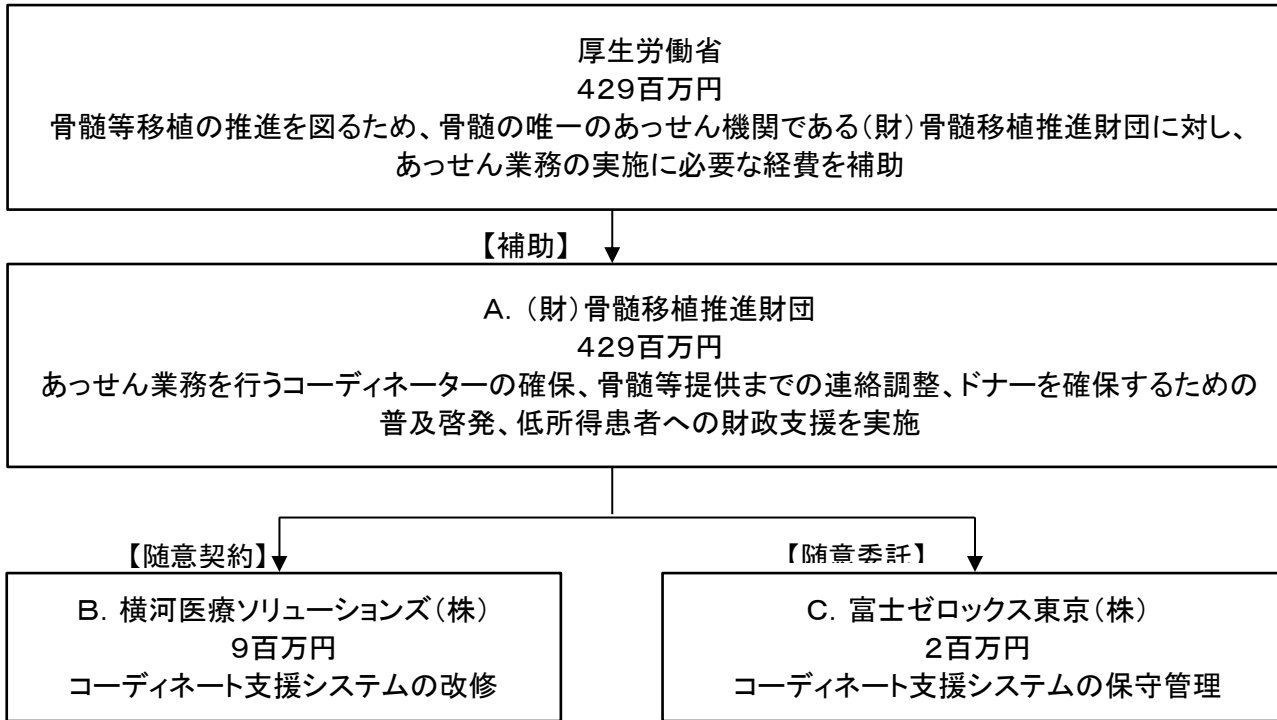
(厚生労働省)

事業名	移植対策（造血幹細胞）事業		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度		担当課室	疾病対策課臓器移植対策室		室長 間 隆一郎		
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-1 適切な移植医療を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	・「骨髄バンク事業の推進について」(平成3年12月18日 健医発第1462号 厚生省保健医療局長通知) ・「骨髄データセンター業務の協力依頼について」(平成3年12月2日 健医発第1388号 厚生省保健医療局長通知) ・「平成11年度における臍帯血移植推進事業について」(平成11年6月2日 健医発第841の2号 厚生省保健医療局長通知) ・骨髄移植対策事業の実施について ・さい帯血移植対策事業の実施について				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	白血病等の治療に有効な造血幹細胞移植を推進するため。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	別紙1のとおり							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	1,763	1,733	1,773	1,784	1,846	
		補正予算			53			
		繰越し等						
		計	1,763	1,733	1,826	1,784	1,846	
	執行額	1,763	1,733	1,826				
	執行率 (%)	100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	①骨髄等移植ドナー登録者数 ②非血縁者間骨髄等移植実施数 ③非血縁者間さい帯血移植実施数	成果実績①	人	357,378	380,457	407,871	前年度以上	
		達成度①	%	106.7	106.5	107.2		
		成果実績②	人	1,232	1,192	1,272	前年度以上	
		達成度②	%	110.2	96.8	106.7		
		成果実績③	人	907	1,074	1,106	前年度以上	
		達成度③	%	103.7	118.4	103.0		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	①ドナー登録会開催数 ②骨髄等ドナー新規登録者数 ③さい帯血新規公開件数	活動実績 (当初見込み)	回	3,299 (前年度以上)	3,895 (前年度以上)	4,312 (前年度以上)	— (前年度以上)	
		活動実績 (当初見込み)	人	33,859 (前年度以上)	36,667 (前年度以上)	41,763 (前年度以上)	— (前年度以上)	
		活動実績 (当初見込み)	本	2,666 (前年度以上)	3,497 (前年度以上)	— (前年度以上)	— (前年度以上)	
単位当たりコスト	16,808(円/人)		算出根拠	平成23年度の補助金(骨髄移植等事業) ÷ 平成23年度の骨髄等ドナー新規登録者 = 単位あたりコスト 701,966,000円(平成23年度) ÷ 41,763人(平成23年度) = 16,808円				
平成24・25年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	別紙2のとおり							
	計							

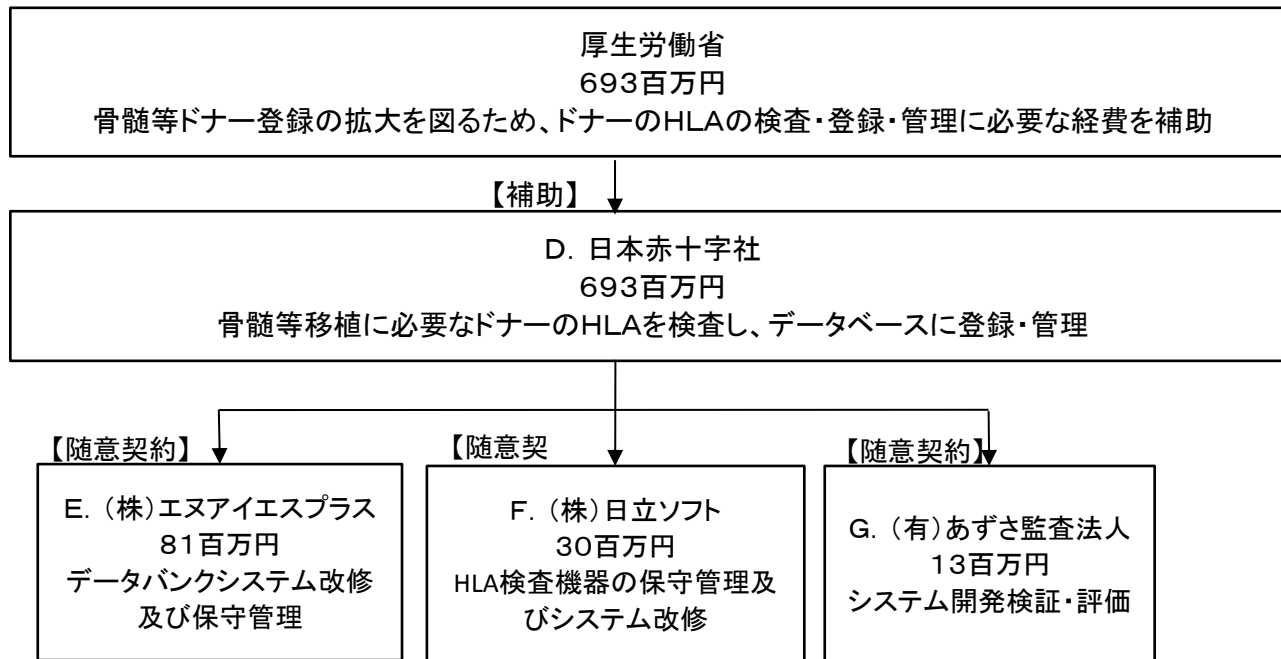
事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	白血病等の血液疾患の患者さんにとって、造血幹細胞移植は非常に有効な治療法であり、広く国民のニーズがあり優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	ドナーと患者を結びつけるあっせん事業者及び臍帯血供給事業者が必要であり、当該事業者は公平・中立であることに加え、営利を目的とする団体であってはならず、現在は(公財)骨髄移植推進財団及び全国8の公的さい帯血バンクが事業を行っている。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の流れ、費目・使途	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	骨髄移植等に必要なHLAデータを確実に管理するため、ドナーのHLA情報の管理システムの保守業務等については、当該システムの構築業者との間で契約を締結している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	ドナー登録について、献血併行型での登録会を多く開催するなど、効率的な登録が行えるよう努力している。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	造血幹細胞提供についてはドナーの善意が、移植については安全・公平に移植が行われるようあっせん体制の確保がそれぞれ必要であることから、ドナー情報の確実な管理、普及啓発等を行っており、負担関係は妥当と考える。
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	事業の効率的かつ効果的な実施を図るために必要なシステムの保守等を再委託して支出しているものであり、合理的である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	造血幹細胞移植については、ドナーのHLA情報の登録・管理、骨髄・末梢血幹細胞移植のあっせん業務、臍帯血の採取、調整保存に係る経費など必要な事業を補助対象としている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	白血病等の治療に有効な造血幹細胞移植を公平に実施するためには、ドナーと患者を結びつけるあっせん事業者及び臍帯血供給事業者が必要であり、当該事業者は公平・中立であることに加え、営利を目的とする団体であってはならず、現在は(公財)骨髄移植推進財団及び全国8の公的さい帯血バンクが事業を行っている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	骨髄・末梢血幹細胞移植ドナー登録者数は近年増加傾向にあり、平成23年度末で40万人を超えており、移植数も着実に増加している。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	骨髄・末梢血幹細胞移植ドナー登録者数は近年増加傾向にあり、平成23年度末で40万人を超えており、移植数も着実に増加している。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	骨髄ドナー登録者及び公開臍帯血の情報は、補助対象としている造血幹細胞適合サービスに登録・管理され、この情報を元に非血縁者間の造血幹細胞移植が行われている。
点検結果	造血幹細胞移植における事業については、職員及び多数のボランティアなど、全国に蓄積されたノウハウを活用して、公平かつ迅速な事業の推進及び多くのドナー登録者の確保、さい帯血の調整・保存等、効果的かつ効率的に事業を実施している。 また、移植の公平性の確保という観点から非血縁者間の骨髄移植・末梢血幹細胞移植のあっせん業務については骨髄バンクが、臍帯血移植に必要な臍帯血の調整保存管理業務については全国8の公的バンクがそれぞれ事業を行っている。		
予算監視・効率化チームの所見			
通現 り状	骨髄バンクデータ登録事業や骨髄移植対策事業について、移植医療の向上に必要な施策であり、事業の必要性及び執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状 通り	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	173	平成23年行政事業レビュー	150

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 行っているかについて補
 足する) (単
 位: 百万円)

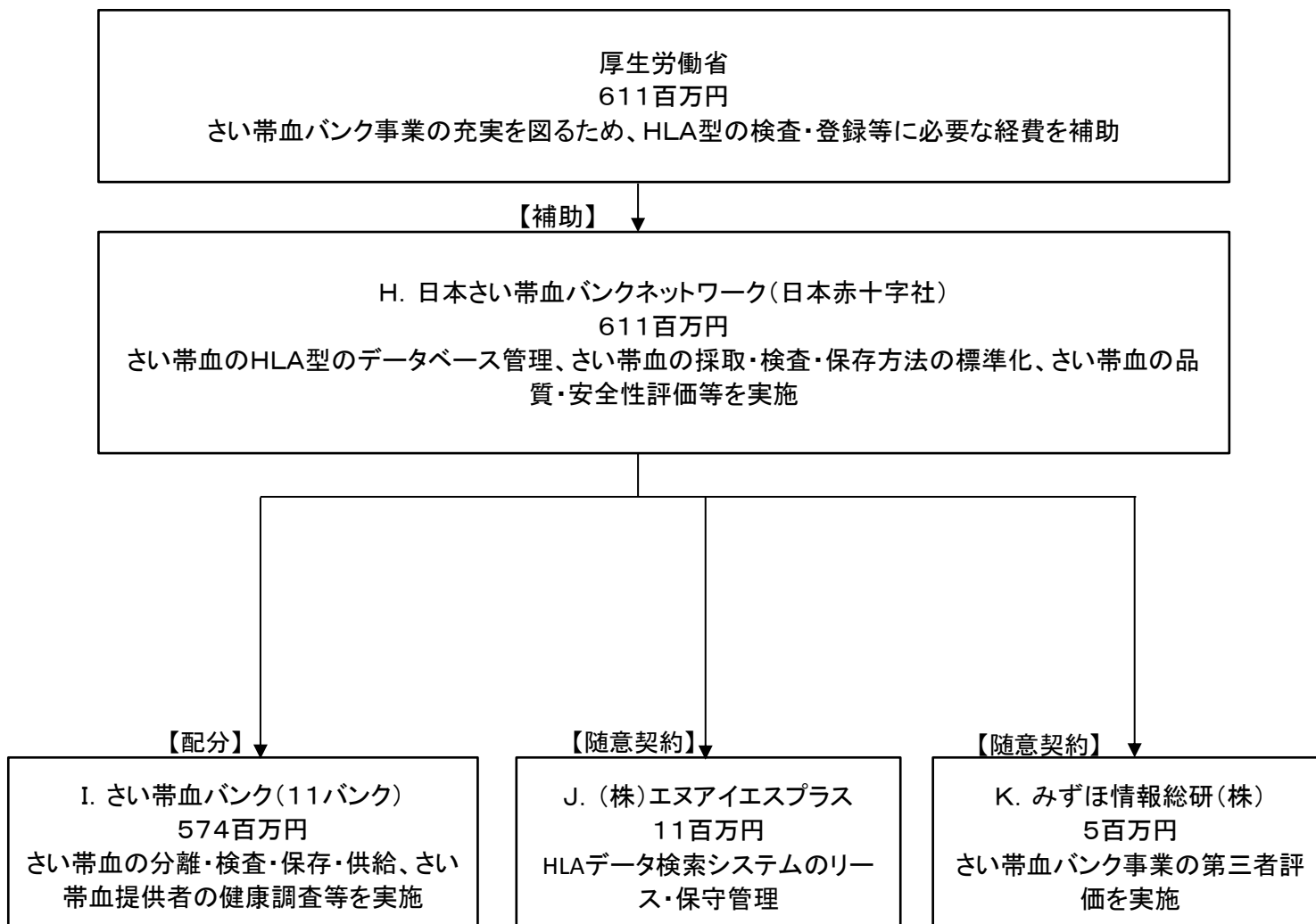
① 骨髄移植対策事業



② 骨髄データバンク登録事業



③ さい帯血移植対策事業



(※金額は22年度実績)

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方で実情が分かる ように記載）	A. (財) 骨髓移植推進財団			E. (株) エヌアイエスプラス		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	コーディネーター等あっせん業務 従事者の給与	160	システム改修費	データバンクシステムの改修及び保守管理	81
	通信運搬費	郵送料、電話代	37	計		81
	賃金	一般コーディネーター賃金	59	F. (株) 日立ソフト		
	患者負担金 免除費	低所得患者の負担金免除	47	費目	使途	金額 (百万円)
	旅費	コーディネート活動、広報活動、研 修会出席	29	システム改 修費	システム改修及び検査機器の保守管理	30
	諸謝金	調整医師・最終同意立会弁護士・ 研修会講師・説明員への謝金	38	計		30
	借料	コーディネート支援システムリース 料、事務機器リース料、ドナー登 録会会場費	29	G. (有) あずさ監査法人		
	印刷製本費	パンフレット、リーフレット、ポス ター、広報誌、ドナーへの説明書	7	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	広報資材制作、インターネット業 務	8	雑役務費	システム評価及び運用体制の検討支援	13
	委託費	横河医療ソリューションズ(株) コーディネート支援システムの改修	9	計		13
		富士ゼロックス東京(株) コーディネート支援システムの保	2	H. 日本さい帯血バンクネットワーク		
	消耗品費	富士ゼロックス東京(株) コーディネート支援システムの保	3	費目	使途	金額 (百万円)
	その他	会議費、データバックアップ保管 料	1	推進事業費	さい帯血バンクに対する検査・保存等経 費の配分	574
	計		429	人件費	事務職員給与	13
	B. 横河医療ソリューションズ(株)			システム経 費	(株) エヌアイエスプラス HLAデータ検索システムのリース・保守管理	11
	費目	使途	金額 (百万円)	旅費	各種委員会の開催	6
	システム費	コーディネート支援システムの改修	9	雑役務費	みずほ情報総研(株) さい帯血バンク事業の第三者評価	5
	計		9	印刷製本費	広報誌、リーフレット	1
	C. 富士ゼロックス東京(株)			その他	通信運搬費、消耗品費、会議費	1
	費目	使途	金額 (百万円)	計		611
	システム費	コーディネート支援システムの保守管理	2	I. 東京臍帯血バンク		
	計		2	費目	使途	金額 (百万円)
	D. 日本赤十字社			人件費	さい帯血管理従事者給与	49
	費目	使途	金額 (百万円)	検査費	HLA検査費	47
	人件費	検査技師・事務職員給与	255	雑役務費	検査機器の保守点検費	11
	検査費	HLA検査費	128	諸謝金	採取協力費	2
	使用料	HLA検査機器リース料、データバ ンクシステムリース料	121	旅費	採取施設訪問、採取技術研修出席	2
	委託費	(株) エヌアイエスプラス システム保守管理、システム改修	81	借料	さい帯血運搬用車両リース料、複写機借 料	1
		(株) 日立ソフト システム改修、検査機器の保守	30	その他	通信運搬費、消耗品費、会議費	1
		有限責任あずさ監査法人 システム評価・運用体制の検討支援	13	計		113
		その他データセンター業務にかか る委託	2	J. (株) エヌアイエスプラス		
	通信運搬費	郵送料、通信回線費、検体輸送 費	39	費目	使途	金額 (百万円)
	消耗品費	採血管、事務用品	8	情報管理費	HLAデータ検索システムのリース・保守管 理	11
	旅費	研修会出席、会議出席	3	計		11
	印刷製本費	封筒、台紙	3	K. みずほ情報総研(株)		
	その他	固定資産、準備消耗品	9	費目	使途	金額 (百万円)
		その他データセンター管理費	1	雑役務費	さい帯血バンク事業の第三者外部評価の 実施	5
	計		693	計		5

支出先上位10者リスト

A. (財)骨髄移植推進財団

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)骨髄移植推進財団	骨髄移植等におけるあっせん業務等	429	/	/
2					
3					

B. 横河医療ソリューションズ(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	横河医療ソリューションズ(株)	コーディネート支援システムの改修	9	随意契約	/
2					
3					

C. 富士ゼロックス東京(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士ゼロックス東京(株)	コーディネート支援システムの保守管理	2	随意契約	/
2					
3					

D. 日本赤十字社

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本赤十字社	HLA検査、HLAデータの管理等	693	/	/
2					
3					

E. (株)エヌアイエスプラス

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エヌアイエスプラス	データバンクシステムの改修及び保守管理	81	随意契約	/
2					
3					

F. (株)日立ソフト

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日立ソフト	HLA検査機器の保守管理及びシステム改修	30	随意契約	/
2					
3					

G. (有)あずさ監査法人

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)あずさ監査法人	システム評価及び運用体制の検討支援	13	随意契約	/
2					
3					

H. 日本さい帯血バンクネットワーク

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本さい帯血バンクネットワーク	さい帯血バンクに対する検査・保存等経費の配分等	611		
2					
3					

I. さい帯血バンク

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京臍帯血バンク	さい帯血の採取、検査、保存等の事業	113		
2	東海大学さい帯血バンク	"	85		
3	東京都赤十字血液センター臍帯血バンク	"	78		
4	京阪さい帯血バンク	"	69		
5	兵庫さい帯血バンク	"	59		
6	北海道臍帯血バンク	"	49		
7	福岡県赤十字血液センターさい帯血バンク	"	33		
8	東海臍帯血バンク	"	32		
9	中国四国臍帯血バンク	"	25		
10	宮城さい帯血バンク	"	20		

J. (株)エヌアイエスプラス

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エヌアイエスプラス	HLAデータ検索システムのリース・保守管理	11	随意契約	
2					
3					

K. みずほ情報総研(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	みずほ情報総研(株)	さい帯血バンク事業の第三者外部評価の実施	5	随意契約	
2					
3					

【事業概要】

①骨髄等移植対策事業

事業概要	<p>1. 骨髄等のあっせんに関する事業 白血病等の治療に有効な骨髄移植や末梢血幹細胞移植を公平に実施するため、第三者機関である骨髄移植推進財団があっせん機関として骨髄移植等に係る連絡調整を行う(国際的なあっせんを含む)。また、骨髄等提供登録者(ドナー)の登録内容の定期的更新等を行う。</p> <p>2. 骨髄移植等に係る普及啓発に関する事業 一人でも多くの患者に骨髄移植等の機会を提供できるよう、骨髄等提供希望者を確保するための普及啓発事業、骨髄等提供希望者への説明を行うボランティアに対する研修事業、ドナー登録会の開催及び低所得者の患者負担金免除事業を行う。</p> <p>補助率:定額(1/2・10/10)</p>
-------------	---

②骨髄データバンク登録事業

事業概要	<p>白血病等の患者に移植した骨髄がうまく機能するには、骨髄等提供希望者と患者の間でHLA(白血球の型)を一致させる必要がある。HLAが一致する確率は数百から数万分の1であるため、HLAの適合率を高め、移植の機会を公平に確保するには、広く国民から骨髄等提供希望者を募り、多くのHLAを登録し、患者への骨髄等の提供に結びつける必要がある。このため、本事業では、骨髄等提供希望者のHLAを検査し、データバンクへの登録・管理を行っている。</p> <p>補助率:定額(10/10)</p>
-------------	---

③さい帯血移植対策事業

事業概要	<p>さい帯血移植は骨髄移植と同様に、白血病等の重い血液疾患に対して有効な治療法である。本事業では、無償提供されたさい帯血のHLAを検査し、データベースに登録・管理するとともに、さい帯血を-196℃の液体窒素中で凍結保存し、必要とする患者に供給している。一人でも多くの患者を救うため、より移植に適した細胞数の多いさい帯血を保存しつつ、安全なさい帯血移植実施体制の整備を行っている。</p> <p>補助率:定額(10/10)</p>
-------------	---

【実施状況】

①骨髄等移植対策事業、②骨髄データバンク登録事業

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・骨髄バンクのドナー登録者数:407,871人(平成23年度末現在) ・骨髄バンクを介した骨髄等移植実施数: <ul style="list-style-type: none"> 1,272例(平成23年度実績) 14,051例(平成23年度末までの累計)
-------------	--

③さい帯血移植対策事業

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・さい帯血公開数:29,560個(平成23年度末現在) ・さい帯血バンクを介したさい帯血移植実施数: <ul style="list-style-type: none"> 1,074例(平成23年度実績) 8,429例(平成23年度末までの累計)
-------------	---

平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
	①骨髄データバンク登録事業	665	684	骨髄等提供者をデータバンクに登録する際のHLA型の検査等に係る経費の増(18百万)
	②さい帯血移植対策事業	665	653	
	(1)さい帯血保存管理業務(あっせん業務)費	632	603	公的さい帯血バンク数の減少による経費の減(▲28百万)
	(2)さい帯血情報管理経費	31	29	
	(3)日本さい帯血バンクネットワーク運営会議費	2	1	
	(4)さい帯血移植等共同支援事業費	0	20	臍帯血の調整保存技術者研修、採取技術向上のための検討会、造血幹細胞移植支援機関の機能強化に係る経費の増(20百万)
	③骨髄移植対策事業	453	470	
	(1)あっせん業務関係事業費	355	362	初期コーディネート期間短縮のための体制整備に係る経費の増(7百万)
	(2)あっせん事業体制整備費	15	15	
(3)普及啓発事業費	83	93	骨髄・末梢血幹細胞移植の患者負担金の低所得者対策の充実に係る経費の増(10百万)	
④造血幹細胞移植患者・ドナー情報登録事業支援費	0	38	移植成績の向上に資する研究、治療のガイドライン作成等に係る経費の増(38百万)	
計	1,784	1,846		